

特定非営利活動法人 安房文化遺産フォーラム

1. 2020（令和2）年度 事業報告

戦争遺跡や中世城跡、漁村の歴史文化、豊かな自然環境などを「館山まるごと博物館」と位置づけて、調査・保全・活用のエコミュージアム活動を進め、先人の培った「平和・交流・共生」の精神を学び、教育支援や地域づくりを図ってきた。前年の台風被災に続く新型コロナウイルス感染症の災禍において、事業展開はかなり困難になっている。「コロナ禍で出来なかったこと・出来たこと」については、小規模博物館ネットワーク（小さいとこサミット）で報告し、そのレポートをYouTubeで紹介している（▲QR）。



主たるガイド事業は約9割減と打撃を被ったものの、緊急事態宣言等の合間を縫うように、地元の館山総合高校1年生101名の「観光の学び」や、被災地視察ツアーなど19団体308名を実施した。

書籍事業に関しても、ガイドツアー減に伴い販売数が著しく低下した。年金者組合安房支部より文集『菜の花』編集委託を受けた。ホームページの充実、YouTubeチャンネルの開設、Twitter・Facebook等の発信とともに、オンラインショップ（通信販売 ▶QR）の開設等、情報発信に注力した。



ホームページ「NPO 法人安房文化遺産フォーラム」	https://awa-ecom.jp/bunka-isan/
YouTube「NPO 法人安房文化遺産フォーラム」	https://www.youtube.com/channel/UCPYvR47zgC6HB0ehpKgl1DQ
Twitter「館山まるごと博物館」	https://twitter.com/awabunka_npo
Facebook「NPO 法人安房文化遺産フォーラム」	https://www.facebook.com/awabunka/
オンラインショップ「館山まるごと博物館」	https://awa-ecom.jp/online-shop/

戦後75年平和祈念事業として、渚の駅たてやまギャラリーにおいて「館山まるごと博物館」展を開催し、市内の戦争遺跡をはじめ先人たちが培った「平和の文化、やゆかりの芸術などを紹介した。また、事務所ショーウィンドウにおいても、元落下傘兵の版画家・秋山巖生誕100年記念展はじめ多様な安房の歴史文化を紹介する「館山まるごと博物館」展をおこなった。

前年度から続く台風復興事業においては、連携を図っている布良崎神社の復興イベント開催や神輿修復基金の呼びかけに協力するとともに、山林の倒木処理等に尽力した。

事務局を付託されている【青木繁「海の幸」誕生の家と記念碑を保存する会】においては、青木繁「海の幸」記念館・小谷家住宅（館山市指定有形文化財）の管理団体である。コロナ禍につき当主の意向により休館しているが、前年度の台風19号で若干被災した屋根瓦の補修や周辺整備をおこなった。青木繁「海の幸」記念碑（1962年建立）は、経年劣化と台風被災でコンクリートが剥がれ落ち鉄骨がむき出しであったものを補修した。全国の美術家から提供されたチャリティの「青木繁オマージュ色紙展」をオンライン開催とした。なお、この間の富崎地区の台風災害やコロナ禍を契機に、青木保存会の組織のあり方など、様々な課題が起きてきたことを受け止め、その方策の検討をはじめた。

千葉県教育委員会・安房高校より、旧安房南高校木造校舎（県指定有形文化財）の一般公開および通年の巡視に関する事業委託を受け、当NPOが事務局を付託されている【安房高等女学校木造校舎を愛する会】の協力のもと、草刈り・掃除等の環境整備をおこなった。見学会については、コロナ禍のため中止となったが、代替事業として木造校舎の紹介動画（▶QR）を制作し配信した。



26年目を迎えた【ウガンダ支援交流】については、10月のウガンダコーヒー月間キャンペーンを安房地域内の26店舗とともに共同展開し、オンラインショップを通じて通年の販売につなげた。第16回安房・平和のための美術展においても、ウガンダ支援交流の紹介展示をおこなった。コロナ禍のため、安房西高校文化祭や館山病院感謝祭など従来開催していた支援バザーを開くことはできなかったが、従来どおりの支援額の送金に加え、ウガンダ安房南洋裁学校の卒業生らが制作したエプロンやバッグ等の製品を仕入れることができた。

【房総アワビ移民研究所】との協働による古文書の解読と歴史背景の調査研究は、南房総市まちづくり補助事業の2年目となる。渡米したアワビ漁師のリーダー（小谷仲治郎）旧宅から発見された断簡文書は、大半が海産物問屋「金澤屋」の書簡であり、研究チーム15名により約400枚の解読と目録整備を完了。明治期において殖産興業が進むなか、安房の水産業の先進的な役割が明らかになりつつある。市民へ周知し普及啓蒙の機会として「渡米アワビ漁師のふるさとをめぐるウォーキング」を南房総市千倉町千田区・長性寺で開催した。また、オンライン開催となった千葉県歴史教育者協議会研究会・エコレポ（▶QR）等で経過報告した。



(1) 文化財や戦争遺跡を活用したガイド事業

① ガイド実績 (上段:団体数、下段:人数、赤山ガイドサービス含む) ガイドスタッフ延べ 240 名

2020	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
人数	2	0	7	0	25	9	15	231	6	0	0	13	308
団体	1	0	1	0	2	1	4	5	1	0	0	4	19

2019年度:1,846人 65団体、2018年度:2,496人 69団体、2017年度:3,450人 124団体

- ・平和学習・歴史学習・総合学習・エコミュージアムまちづくり視察・被災地視察ツアー等

② 地域史の調査研究

- ・明治期渡米したアワビ漁師に関わる古文書調査

(2) 書籍等の発行事業

- ① 地域紹介のガイドブックを作成し販売。
- ② 年金者組合安房支部より文集『なの花』編委託。

(3) その他の非営利事業 「館山まると博物館」まちづくり活動

① 情報発信

- ・会報
- ・公式サイト/Facebook/YouTube 「NPO 法人安房文化遺産フォーラム」
- ・Twitter/エコレポ「館山まると博物館」
- ・オンラインショップ (通信販売)「館山まると博物館」

② 青木繁《海の幸》誕生の家と記念碑を保存する会 (事務局付託)

- ・青木繁「海の幸」記念館の管理運営 (休館)
- ・屋根瓦修繕・手すり修繕・木伐採・庭園整備 4/2、5/18、8/、10/19~24、11/11
- ・青木繁「海の幸」記念碑の補修 4/4~8
- ・青木繁オマージュ色紙展オンライン開催 12/28~2/28
- ・布良崎神社の復興支援 随時、9/26

③ 安房高等女学校木造校舎を愛する会 (事務局付託)

旧安房南高校木造校舎の県委託事業

- ・見学会:中止 ⇒ 木造校舎紹介動画作成 (県文化財 YouTube)
- ・通年管理の巡視・窓開け・簡易掃除等
- ・草刈り・掃除・資料整理
- ・調査研究

④ 房総アワビ移民研究所 (協働) ※南房総市チャレンジ補助事業

- ・古文書調査・歴史調査
- ・学習会 7/6、9/12、10/11、11/7、12/5
- ・ウォーキング 11/3
- ・発表 (歴史教育者協議会/小規模博物館ネットワーク) 2/23 2/28

⑤ ウガンダ支援交流 (協働)

- ・平和のための美術展 8/10~20
- ・ウガンダコーヒー月間 26 店舗 10/1~31

⑥ 安房フォーラム支援隊 (協働)

- ・倒木処理 (清水山、小原家住宅、十二天神社) 4/6、5/18、7/9、7/19、7/23~26、8/2、

⑦ 安房地域母親大会 (協働)

- ・台風災害対策 (館山市危機管理室と対談) 8/30
- ・SNS 学習・5G 問題 10/28

⑧ 市民活動団体との協働

- ・年金者組合安房支部
- ・安房・平和のための美術展 8/22~30
- ・かいた婦人の村
(草刈り・バザー・学習ボランティア)

2. 2020（令和2）年度 決算報告

※ 比較がわかりやすいように、台風年（2019）と台風前年（2018）とを並べました。
温かいご支援をいただいた多くの皆様の心に心より感謝申し上げます。

	科目	2020決算	2019決算	2018決算	備 考
I	収入の部				
	1 会費・入金収入				
	会費A（正会員）	292,000	222,000	245,000	
	会費B	602,000	253,000	312,000	
	2 非営利事業収入				
	①文化財や戦争遺跡を活用したガイド事業収入	401,000	1,384,190	2,574,807	
	②書籍出版販売事業収入	331,145	544,874	706,770	
	③その他非営利事業収入	649,822	473,334	1,662,220	
	④委託事業	820,000	250,000	759,000	安房南高校公開事業
	3 その他の収入				
	補助金・助成金	344,000	500,000	0	
	給付金	2,400,000	-	-	一時給付金等
	寄付金	1,346,225	2,799,371	718,100	
	受取利息	9	5	0	
	保険確定精算	8,982	0	0	
	雑収入	203	401,802	0	
	当期収入合計（A）	7,195,386	6,828,576	6,977,897	
	前期繰越収支差額	120,461	12,982	51,468	
	4 借入金収入				
	収入合計（B）	7,315,847	6,841,558	7,029,365	
II	支出の部				
	1 事業費				
	①文化財や戦争遺跡を活用したガイド事業支出	150,887	219,807	691,430	
	②書籍出版販売事業支出	285,000	586,310	364,190	
	③その他非営利事業支出	1,251,929	597,815	1,151,480	
	2 管理費				
	人件費	2,680,000	2,680,000	1,980,000	
	事務所管理費	769,225	1,040,358	832,619	
	消耗品費	272,804	330,238	360,710	
	渉外会議費	128,853	116,881	151,100	
	諸会費	46,600	75,500	98,000	
	調査研究費	22,584	18,669	91,600	
	通信郵送費	705,819	684,822	798,418	
	旅費交通費	183,128	270,230	384,220	
	手数料	2,820	4,079	4,614	
	保険料	20,950	26,388	38,002	
	租税公課	70,000	70,000	70,000	
	3 特別会計へ				
		500,000	0	0	
	4 返済				
		0	0	0	
	当期支出合計（C）	7,090,599	6,721,097	7,016,383	
	次期繰越収支差額（B）-（C）	225,248	120,461	12,982	
III	特別会計 積立金	500,000	0	0	
IV	負債の部 借入繰越金	1,000,000	1,000,000	1,000,000	

3. 2021（令和3）年度 事業方針

新型コロナウイルス感染症のパンデミックはまだ収束が見通せないものの、蔓延防止対策により県境を越えられない県内の小中学校などを中心に、少しずつ団体ガイド依頼が戻りつつある。一方、ガイドスタッフの高齢化や実践減少に伴い、後継のガイド養成が急務である。とりわけ大型団体については、特にコロナ対策（三密を避ける等）を踏まえた行程立案が困難であり、工夫が必要である。

ヘリテージツーリズムの魅力発信をテーマとして **館山市観光振興補助事業**の採択を受け、平和学習・歴史建物探訪・文学芸術散歩等のバーチャルツアー動画や、「館山まるごと博物館」パンフレット等をオンライン配信する。

旧安房南高校の見学会と通年の巡視・掃除等につき、NPOが**県教委・安房高校から委託**を受けており、NPOが事務局を担う【**安房高等女学校木造校舎を愛する会**】の協力を得ておこなっている。しかし見学会は感染者の激増に伴い中止となり、代替事業としてオンライン講演会および木造校舎の写真・パネル展を開催する。

青木繁「海の幸」記念館・小谷家住宅（館山市指定有形文化財）の管理団体である【**青木繁《海の幸》誕生の家と記念碑を保存する会**】は、引き続き事務局を担う。コロナ禍のため記念館は休館中が続いているが、庭園整備の垣根づくりをおこない、オンライン見学会の動画を作成する。連携を図っている布良崎神社の復興支援の呼びかけに引き続き協力していく。なお、台風災害やコロナ禍を契機に、同地区には様々な課題が山積しており、保存会の組織や運営のあり方について、当主の意向を踏まえながら検討と話し合いをおこなっている。

南房総市まちづくり補助事業の3年目を迎える【**房総アワビ移民研究所**】との協働で進めている古文書調査は、渡米した背景として、海産物問屋「金澤屋」の事業展開を中心に明治期安房の水産界について明らかになりつつある。最終年度のまとめとして、ウォーキング、資料展示会、報告書（目録）作成のほか、米国歴史学者との情報共有と共同研究をオンラインにておこなう。

27年目となる【**ウガンダ支援交流**】においては、コロナ禍につき従来の支援バザーは開けないが、安房西高校の文化祭（校内限定）バザーや、アフリカ太鼓（ジャンベ）サークルなどの呼びかけで、ウガンダから届いたハンドメイド製品（エプロンやバッグ等）の販売を展開する。ウガンダコーヒーについても、従来どおり10月をキャンペーン月間とするほか通年で取り扱う。

4. 役員改選 ※ 今年度より「代表」を1～2名とする旨、定款を変更

- ・ 共同代表 : 愛沢伸雄、 池田恵美子
- ・ 副代表 : 鈴木政和
- ・ 理 事 : 愛沢伸雄、 愛沢香苗、 新屋敷孝、 池田恵美子、 小沢義宣、 片方義明
粕谷智美、 鈴木政和、 関 和美、 鄭 一止、 松井啓悟
- ・ 監 事 : 水上順義

5. 会員について

- ・ A会員（正会員） 会費 10,000 円 （30名）
NPO法人の趣旨に賛同し、日常の活動や運営を支え、年1回の総会に参加する個人。
- ・ B会員（賛同会員） 会費：個人 2,000 円、法人 10,000 円 （246名・12社）
NPO法人の趣旨に賛同し、情報を共有しまたは資金等の援助をする個人または法人。
- ・ 学生会員 会費無料 （5名）

◎ 会費納入のお願いとご注意

会費未納の方には振替伝票を同封しています。ご入金いただけますようお願いいたします。

なお、2022年1月より、ゆうちょ銀行における現金振込の手数料が値上げとなります。ゆうちょ銀行口座をお持ちの方は、ATMで口座から振込むのが安い手数料で済みます。

さらにインターネットをご利用の方は、あらかじめ【ゆうちょダイレクト】サービスの登録手続きをしておけば、月5回までは手数料無料で振込が可能です。詳しくは、ゆうちょ銀行窓口でお尋ね下さい。